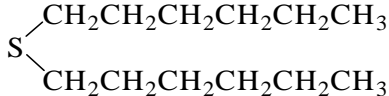
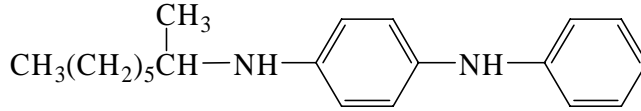
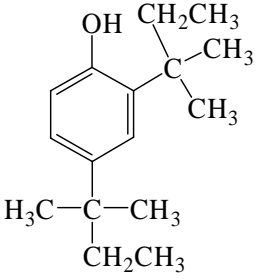


K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定結果 (内は既判定)	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1793	ジヘキシルスルフィド (6294-31-1) 2-0472, 2-0473 	BOD : 43, 65, 63 (57) HPLC: 40, 60, 62 (54) 逆転条件 (参考データ) BOD : 89, 68, 86 (81) HPLC: 100, 92, 100 (97)	-	-	良分解性	なし	1
1794	N-1-メチルヘプチル-N'-フェニル-p-フェニレンジアミン (15233-47-3) 3-0136 	BOD : 3, 5, 4 (4) HPLC: -1, 1, -6 (0)*2 被験物質は試験液中で一部変化し、4-ヒドロキシジフェニルアミン（高濃縮性ではない）、1-メチルヘプチルアミン及びN-フェニル-p-ベンゾキノニンイミン（高濃縮性ではない）を生成した。	5.9 (pH7.0) (HPLC法) 5.74*1		難分解性	被験物質による濃縮度試験	3
1759	2,4-ジ-tert-ペンチルフェノール (120-95-6) 3-0526 	審議済（難分解性） (平成17年11月18日) BOD : -7, -6, -6 (0)*2 HPLC: 4, 2, 4 (3) 被験物質の一部はソーダライムに吸着した。	5.6 (pH3.0) (HPLC法) 6.31*1	定常状態における濃縮倍率 1区: 350倍 2区: 330倍 脂質含有率 開始前 4.51% 終了後 4.26%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	6

*1 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値

*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

整理番号 K-1793 (NEDO 363, 2-0472, 2-0473)	分解度試験	分解度試験	分解度試験																										
ジヘキシルスルフィド (6294-31-1)	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日																										
	試験期間 18.10.23~19.2.23	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .																										
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮																										
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 $\begin{array}{c} \text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_3 \\ \diagup \\ \text{S} \\ \diagdown \\ \text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_2\text{CH}_3 \end{array}$ 分子式 C ₁₂ H ₂₆ S 分子量 202.40	試験濃度	試験濃度	試験濃度																										
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L																										
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L																										
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間																										
純度*1 98.8% (GC)	外観*1 無色透明液体	試験結果 間接	試験結果 間接																										
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 1.2%は不明	溶解度 (対水, その他)			試験結果 直接	試験結果 直接																								
	対水 0.0819 mg/L (20℃) (フラスコ法)																												
融点 -30.9℃	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 8.8 (HPLC法)*2	審査部会 第70回 19年12月21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																										
沸点 264.3℃		審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催																										
蒸気圧 133Pa 以下 (80℃)	加水分解性	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 97.2% (汚泥+被験物質)系 97.9% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・逆転条件試験結果 (28日間 非GLP)	判定																										
比重*1 d ₂₀ ²⁰ 0.8433	解離定数			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">(汚泥+被験物質)系</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>[2]</th> <th>[3]</th> <th>[4]</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD分解度</td> <td>%</td> <td>89</td> <td>68</td> <td>86</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>被験物質分解度 (HPLC)</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>92</td> <td>100</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table> (培養期間 18.11.29~18.12.27)				(汚泥+被験物質)系						[2]	[3]	[4]	平均	BOD分解度	%	89	68	86	81	被験物質分解度 (HPLC)	%	100	92	100	97
				(汚泥+被験物質)系																									
				[2]	[3]	[4]	平均																						
BOD分解度	%			89	68	86	81																						
被験物質分解度 (HPLC)	%	100	92	100	97																								
LD50	IRチャートの有無 (有) ・ 無																												
用途*3 添加剤(油用)、触媒(その他製品用)																													
生産量*3 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満																													
試料 購入先 東京化成工業																													
経済産業公報発表年月日																													

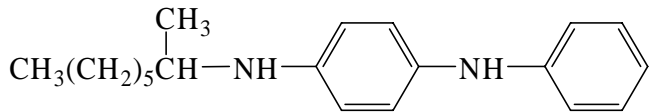
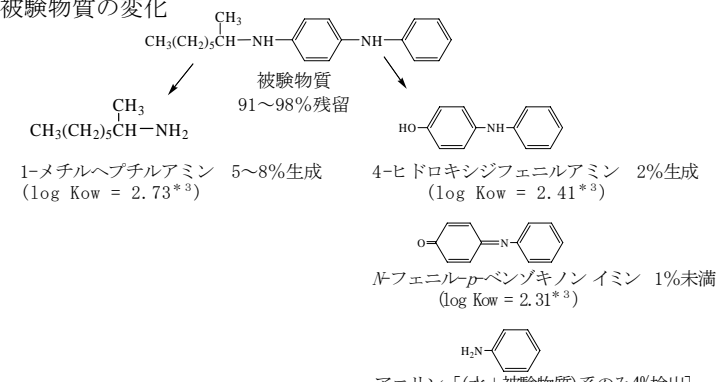
*1 東京化成工業による。

*2 溶離液：アセトニトリル/精製水 (75/25 v/v)

*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 1 7 9 3 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC ₅₀ mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
チオジエチレングリ コール (111-48-8)	HOCH ₂ CH ₂ SCH ₂ CH ₂ OH	2-0470 (K-164)	標準(4W)1982年実施 BOD 0, 30, 27 (19) TOC 14, 30, 28 (24) G C 43, 77, 64 (61)	良分解性 (1982)	/	/	/	/
ジヘキシルスルフィド (6294-31-1)		2-0472 2-0473 (K-1793)	標準(4W) 2007年実施 BOD 43, 65, 63 (57) HPLC 40, 60, 62 (54) 逆転(4W) 2007年実施 非GLP BOD 89, 68, 86 (81) HPLC 100, 92, 100 (97)	/	/	/	/	/
ジデシル = ジスルフ イド (10496-18-1)	CH ₃ (CH ₂) ₉ —S—S—(CH ₂) ₉ CH ₃	2-0473 (K-765)	標準(4W) 1987年実施 BOD 4, 5, 2 (4) G C 1, 8, 1 (3)	難分解性 (1987)	1987年実施 >5.75 (フラスコ振とう法)	>500 (48hr)	1988年実施 1区(500µg/L) : <4.5 2区(50µg/L) : <45 脂質含有率 3.9%	高濃縮性 ではない (1988)
2-メルカプトエタ ノール (60-24-2)	HSCH ₂ CH ₂ OH	2-0458 (K-1272)	標準(4W) 1997年実施 BOD 21, 21, 15 (19) TOC 18, 19, 13 (17) HPLC 32, 29, 26 (29)	良分解性 (1997)	/	/	/	/
エタンチオール (75-08-1)	C ₂ H ₅ SH	2-0460 (K-1273)	標準(4W) 1997年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 100, 100, 100(100) [ジエチルジスルフィドを生成 し、残留した。]	難分解性 (1997)	/	/	ジエチルジスルフィドから 類推	高濃縮性 ではない (2001)
ジエチルジスルフィド (110-81-6)	H ₃ C—CH ₂ —S—S—CH ₂ —CH ₃	2-0477 (K-1273 変化物)	/	/	2000年実施 3.00 (フラスコ振とう法)	7.43 (96hr)	2000年実施 定常状態における濃縮倍率 1区 : 20 ばく露期間における濃縮倍率 2区 : <14 ~ 70 脂質含有率 開始前 3.41% 終了後 4.64%	高濃縮性 ではない (2001)
ジメチルジスルフィド (624-92-0)	H ₃ C—S—S—CH ₃	2-0478 (K-1274)	標準(4W) 1997年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 5, 4, 3 (4)	難分解性 (1997)	1999年実施 1.93 (フラスコ振とう法)	/	分配係数試験から類推	高濃縮性 ではない (1999)

整理番号 K-1794 (NEDO 366, 3-0136)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
N-1-メチルヘプチル-N'-フェニル-p-フェニレンジアミン	事業対象年度 平成18年度	契約年月日	契約年月日
(15233-47-3)	試験期間 18.12.19~19.3.13	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  分子式 C ₂₀ H ₂₈ N ₂ 分子量 296.45	試験濃度 被験物質 100 mg/L 汚泥 30 mg/L	試験濃度 被験物質 mg/L 汚泥 mg/L	試験濃度 被験物質 mg/L 汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
純度*1 95%(GC)	外観 黒褐色粘ちゅう性液体	試験結果 間接 BOD 3, 5, 4 (4)% 直接 HPLC -1, 1, -6 (0)%	試験結果 間接 直接
不純物(物質名, 含有率) 残り5%は不明	溶解度(対水, その他) 対水 変化物ピークが検出されたため測定不可 対アセトニトリル 10 g/L 対メタノール 10 g/L 対テトラヒドロフラン 10 g/L	審査部会 第70回 19年12月21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点 測定不可(融点は-100~25℃に存在しない)	1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 5.9 (HPLC法)*2	判定	判定
沸点 測定不可(室温~350℃で沸点は観察されなかった。)		備考	1-メチルヘプチルアミン(2-0133)を5~8%及びN'-フェニル-p-ベンゾキノリンイミン(K-1051変化物A, H7.10.25, 高濃縮性ではない)を1%未満生成した。また、(水+被験物質)系でのみアニリン(K-1139, 3-0105, H5.4.28, 良分解)が4%生成した。
蒸気圧 133Pa以下(80℃)	加水分解性 水中で速やかに加水分解する*4	1. 回収率* (水+被験物質)系 96.3% (汚泥+被験物質)系 96.0%	・被験物質の変化 
密度		2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
LD50	解離定数 4.5から9.0のpH領域で非解離状態で存在	3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
IRチャートの有無 (有)・無		・HPV事業で実施した。	
用途*5 ゴム製品(有機化学製品用)、添加剤(ゴム用)		・被験物質は試験液中で一部変化し、4-ヒドロキシジフェニルアミン(K-99変化物, 3-0878, H6.2.10, 高濃縮性ではない)を2%、	
生産量*5 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t未滿			
試料 購入先 東京化成工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

*1 東京化成工業添付資料による。

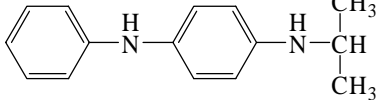
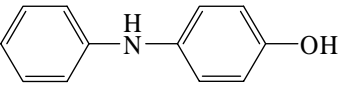
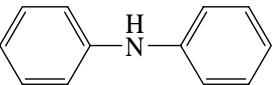
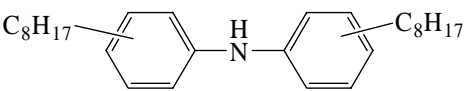
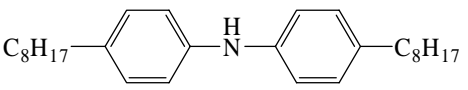
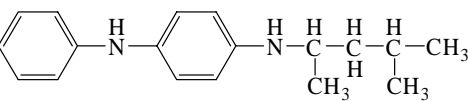
*2 溶離液:メタノール/りん酸緩衝液(pH7.0)(75/25 v/v)

*3 Kowwin v 1.67 による計算値。

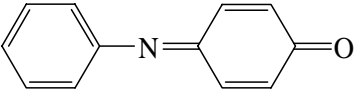
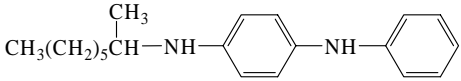
*4 試験条件:試験液;精製水,被験物質濃度;5.00µg/L,試験温度;20℃,半減期;1時間未滿

*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

K - 1794の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
1-フェニルアミノ-4- イソプロピルアミ ノ-ベンゼン (101-72-4)		3-0368 3-0136 (K-99)	標準(2W)1975年実施 BOD 20, 2 (11) G C 100, 100 (100) U V(290nm) -, - 〔変化物が検出されたが構造推定には至らなかった。〕	難分解性 (1976)	3.28 ^{*1}	/	低濃度(1.0mg/L)で水中変化し、 <i>p</i> -ヒドロキシジフェニルアミンとイソプロピルアミンを生成した。 <i>p</i> -ヒドロキシジフェニルアミンから類推	高濃縮性 ではない (1994)
4-ヒドロキシジフェ ニルアミン (122-37-2)		3-0878 (K-99 変化物)	/	/	1993年実施 2.77 (フラスコ振とう法)	0.714 (48hr)	1993年実施 1区(0.1 mg/L) : 3.3~9.2 2区(0.01mg/L) : <14~49 脂質含有率 4.2%	高濃縮性 ではない (1994)
ジフェニルアミン (122-39-4)		3-0133 (K-120)	標準(2W) 1975年実施 BOD -3, 0 (0) ^{*2} G C 5, 8 (7) U V(287nm) 4, 6 (5)	難分解性 (1976)	3.29 ^{*1}	5.1 (48hr)	1976年実施 1区(0.1 mg/L) : 101~242 2区(0.01mg/L) : 51~253 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1977)
<i>N,N</i> -ビス(オクチル フェニル)アミン (26603-23-6)		3-0138 (K-206)	標準(2W) 1976年実施 BOD -4, -7 (0) ^{*2} U V(288nm) 7, 4 (6)	難分解性 (1976)	-	1000 (48hr)	1977年実施 1区(0.5 mg/L) : <1 2区(0.05mg/L) : <10 脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1978)
<i>p,p'</i> -ジオクチルジ フェニルアミン (101-67-7)		3-0301 (K-1202)	標準(4W) 1995年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 4, 1, 3 (2)	難分解性 (1995)	1996年実施 >4.84 (フラスコ振とう法)	>500 (48hr)	1996年実施 1区(0.1 mg/L) : 0.8~1.3 2区(0.01mg/L) : <3.0~5.5 脂質含有率 4.4%	高濃縮性 ではない (1996)
<i>N</i> -(1,3-ジメチルブ チル)- <i>N'</i> -フェニ ル- <i>p</i> -フェニレンジ アミン (793-24-8)		3-0368 (K-1051)	標準(4W) 1994年実施 BOD 4, 1, 2 (2) HPLC 93, 92, 92 (92) 〔被験物質は試験液中で変化し、 <i>p</i> -ヒドロキシジフェニルアミン(K-99変化物, 3-0878, H6.2.10(190), 高濃縮性ではない)、フェニルベンゾキノンイミン及び1,3-ジメチルブチルアミンを生成した。〕	難分解性 (1994)	2000年実施 4.47 (フラスコ振とう法)	/	K-1051 変化物A及びK-1051 変化物Bで濃縮度試験実施	/

K - 1794 の類似物質表

化合物名 (CAS 番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<i>p</i> -フェニルベンゾ キノニンイミン (-)		(K-1051 変化物A)			2.31 ^{*1}	0.408 (48hr)	1995年実施 1区(6.83 µg/L) : <1.2 ~ 17 2区(0.683µg/L) : <12 ~ 23 脂質含有率 3.5%	高濃縮性 ではない (1995)
1,3-ジメチルブチル アミン (108-09-8)	$\begin{array}{ccccccc} \text{H}_2\text{N} & - & \text{CH} & - & \text{CH}_2 & - & \text{CH} & - & \text{CH}_3 \\ & & & & & & & & \\ & & \text{CH}_3 & & & & \text{CH}_3 & & \end{array}$	2-0133 (K-1051 変化物B)			1995年実施 1.20 ^{*3} (フラスコ振とう 法による参考値)	1995年実施 1区(200µg/L) : <1.7 ~ 2.6 2区(20 µg/L) : <17 脂質含有率 3.5%	高濃縮性 ではない (1995)	
<i>N</i> -1-メチルヘプチル - <i>N'</i> -フェニル- <i>p</i> - フェニレンジアミン (15233-47-3)		3-0136 (K-1794)	標準(4W) 2007年実施 BOD 3, 5, 4 (4) HPLC -1, 1, -6 (0)		2007年実施 5.9 (HPLC法) ^{*4}			

*1 Kowwin v 1.66 による計算値。

*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0 と表記した。

*3 不適切な程度に解離 (解離定数 pKa = 10.5 (滴定法))。

*4 溶離液:メタノール/りん酸緩衝液(pH7.0)(75/25 v/v)。

整理番号 K-1759 (NEDO 334, 3-0526)		分解度試験		分解度試験		分解度試験																					
2,4-ジ-tert-ペンチルフェノール (120-95-6)		事業対象年度 平成17年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日																					
		試験期間 17. 7. 11~17. 11. 7		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .																					
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮																					
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状 分子式 C ₁₆ H ₂₆ O 分子量 234.38		試験濃度		試験濃度		試験濃度																					
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L																					
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L																					
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間																					
純度 ①98.4%*1 ②99.7%*2		外観 黄色液体		試験結果 間接		試験結果 間接																					
不純物 (物質名, 含有率) ①不明 1.6%*1 ②残り 0.3%は不明*2		溶解度 (対水, その他) 対水 4.59 mg/L (25°C) (フラスコ法) 5.45 mg/L (20°C) (カラム溶出法) 対テトラヒドロフラン 10 g/L 以上		試験結果 直接		試験結果 直接																					
融点 26.2°C		1-オクタノール/水分配係数 log Pow = 5.6 (HPLC法)*4		審査部会 第49回 17年11月18日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催																					
沸点 291.5°C		加水分解性 pH4, 7, 9 加水分解性なし		判定 難分解性		判定																					
蒸気圧 9.49×10 ¹ Pa (25°C)		解離定数 pKa = 11.86 (20°C) (分光光度法)		備考 1. 回収率 (水 + 被験物質) 系 94.4% (汚泥 + 被験物質) 系 95.2% 2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・ 被験物質残留率 (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験液</th> <th>ソーダライム</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水系</td> <td>84</td> <td>0</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>汚泥系-1</td> <td>96</td> <td>1</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>-2</td> <td>98</td> <td>0</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>-3</td> <td>96</td> <td>1</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table> ・ 被験物質は一部ソーダライムに吸着した。			試験液	ソーダライム	合計	水系	84	0	84	汚泥系-1	96	1	97	-2	98	0	98	-3	96	1	97	備考	
	試験液	ソーダライム	合計																								
水系	84	0	84																								
汚泥系-1	96	1	97																								
-2	98	0	98																								
-3	96	1	97																								
比重*3 d ₄ ²⁰ 0.930		IRチャートの有無 (有) ・ 無																									
LD50*3 330 mg/kg (oral, rat)		用途*5 添加剤 (樹脂用・油用)、その他 (電子材料等製品用)																									
I Rチャートの有無 (有) ・ 無		生産量*5 (16年) 製造及び輸入 1,000~10,000 t 未満																									
試験料 購入先 ①ACROS ORGANICS ②東京化成工業		試験料 購入先 ①ACROS ORGANICS ②東京化成工業																									
経済産業公報発表年月日		年 月 日																									

*1 ACROS ORGANICS 添付資料による。 *2 東京化成工業添付資料による。 *3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。

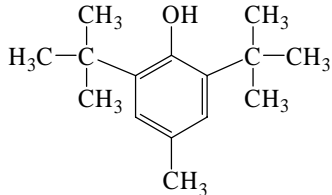
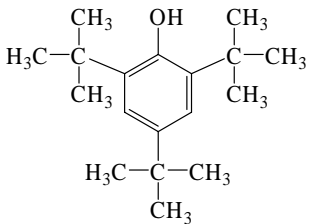
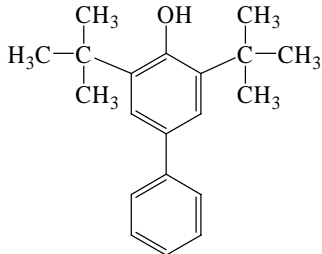
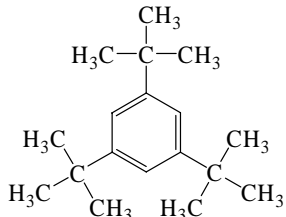
*4 溶離液：メタノール/りん酸緩衝液 (pH3.0) (3/1 v/v)

*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

①分解度試験 ②分配係数試験及び濃縮度試験

濃縮度試験			事業対象年度 平成19年度			濃縮度試験			年 月 日			依 頼	毒性試験			
試験期間			19. 5. 11 ~ 19. 9. 10			試験期間			. . . ~ . . .				年 月 日			
試験装置 (標)・揮		LC50値 0.964mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)				試験装置 標・揮		LC50値 mg/L(hr)魚種()				経過				
水槽設定濃度 (μg/L)						水槽設定濃度 ()										
被験物質		分散剤				被験物質		分散剤								
		HCO-40	N,N-ジメチルホルムアミド													
第1濃度区		5		25		20000										
第2濃度区		0.5		2.5		20000										
第3濃度区																
濃縮倍率			脂質含有率 開始前 4.51% 終了後 4.26% 魚種(コイ)			濃縮倍率			脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種()							
		12日後	25日後	39日後	50日後	60日後			日後	日後	日後		日後	日後		
第1		水槽濃度 (μg/L)	4.42	4.36	4.32	4.83	5.10	第1		水槽濃度 ()						
		倍率	220	330	420	360	310			倍率						
第2		水槽濃度 (μg/L)	0.454	0.460	0.421	0.454	0.473	第2		水槽濃度 ()						
		倍率	320	320	310	410	340			倍率						
第3		水槽濃度 ()						第3		水槽濃度 ()						
		倍率								倍率						
審査部会 第70回 19年 12月 21日 開催						審査部会 第 回 年 月 日 開催										
判定結果						判定結果										
備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 350倍 第2濃度区 330倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 89.0% 試験水 第1濃度区 0.30 μg/L 第2濃度区 0.030μg/L 供試魚 79.0% 供試魚 17 ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構						備考										

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2-イソプロピル-5- メチルフェノール (89-83-8)		3-0521 4-0057 (K-1227)	標準(4W) 1995年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 1, 2 (1) HPLC 0, 1, 3 (1)	難分解性 (1995)	1996年実施 3.40 (フラスコ振とう法)	9.35 (48hr)	1996年実施 1区(10µg/L): 7.8~19 2区(1µg/L): <48 脂質含有率 3.8%	高濃縮性 ではない (1996)
2-tert-ブチル-5- メチルフェノール (88-60-8)		3-0521 (K-1366)	標準(4W) 1998年実施 BOD 1, 1, 1 (1) HPLC 2, 2, 0 (1)	難分解性 (1998)	1998年実施 4.11 (フラスコ振とう法)	6.13 (96hr)	2000年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(10µg/L): 63 2区(1µg/L): 52 脂質含有率 開始前 2.23% 終了後 2.59%	高濃縮性 ではない (2000)
2,6-ジイソプロピ ルフェノール (2078-54-8)		3-2653 3-0521 3-0526 4-0057 (K-1497)	標準(4W) 1999年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 2, 0, 2 (1) 〔一部ソーダライムに吸着した。〕	難分解性 (2000)	3.57*1	0.843 (96hr)	2001年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(2 µg/L): 27 2区(0.2µg/L): 26 脂質含有率 開始前 1.44% 終了後 2.10%	高濃縮性 ではない (2001)
2,6-ジ-sec-ブチル フェノール (5510-99-6)		3-0521 3-0526 (K-480)	標準(4W) 1987年実施 G C 4, 3, 3 (3) 〔炭酸ガス吸収剤と反応するた め、BOD測定は行わなかった。〕	難分解性 (1987)	1988年実施 >4.30	0.470 (48hr)	1988年実施 1区(2.5 µg/L): 145~348 2区(0.25µg/L): 216~501 脂質含有率 5.1%	高濃縮性 ではない (1988)
2,4-ジ-tert-ブチル フェノール (96-76-4)		3-0526 3-0521 (K-794)	標準(4W) 1986年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 0, 1, 0 (0)	難分解性 (1986)	2006年実施 5.19 (フラスコ振とう法)	2.67 (48hr)	1987年実施 1区(20µg/L): 128~436 2区(2µg/L): 135~360 脂質含有率 4.7%	高濃縮性 ではない (1987)
2,4-ジ-tert-ペンチ ルフェノール (120-95-6)		3-0526 (K-1759)	標準(4W) 2005年実施 BOD -7, -6, -6 (0)*2 HPLC 4, 2, 4 (3) 〔一部ソーダライムに吸着した。〕	難分解性 (2005)	2007年実施 5.6 (HPLC法)*3	0.964 (96hr)	2007年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(5 µg/L): 350 2区(0.5µg/L): 330 脂質含有率 開始前 4.51% 終了後 4.26%	

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
2,6-ジ-tert-ブチル -p-クレゾール (128-37-0)		3-0540 (K-80)	標準(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) G C 10, 21 (16) U V(280nm) 11, 30 (20)	難分解性 (1975)	5.03*1	5.9 (48hr)	1976年実施 1区(500µg/L): 500~5000 2区(50µg/L): 1000~3100	高濃縮性 (1976)
			逆転(4W) 1977年実施 BOD 22, 34 (28) G C 47, 68 (58)	保 留 (1977)			脂質含有率 —	
			被験物質 50mg/L 汚 泥 50mg/L (4W) 1978年実施 BOD 5, 4 (5) G C 5, 0 (3)	難分解性 (1978)			1979年実施 1区(500µg/L): 410~2800 2区(50µg/L): 230~2500 3区(5µg/L): 330~1800	高濃縮性 ではない (1979)
2,4,6-トリ-tert- ブチルフェノール (732-26-3) 第一種特定化学物質		3-0540 (K-555)	標準(4W) 1981年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 1, 9, 5 (5)	難分解性 (1981)	1982年実施 6.06 (フラスコ振とう法) 2004年実施 7.0 (HPLC法)	128 (48hr)	1982年実施 1区(10µg/L): 4830~16000 2区(1µg/L): 4320~23200 脂質含有率 4.5%	高濃縮性 (1982)
2,6-ジ-tert-ブチル -4-フェニルフェ ノール (2668-47-5) 第一種監視化学物質		4-0821 (K-481)	標準(4W) 1980年実施 BOD 0, 1, 0 (1) U V(266 nm) 0, 0, 5 (2)	難分解性 (1980)	1981年実施 >6.19 (HPLC法)	460 (48hr)	1981年実施 1区(500µg/L): 917~4860 2区(50µg/L): 2320~12500 脂質含有率 5.4% 1983年実施 1区(10µg/L): 3380~15900 2区(1µg/L): 3260~8690 脂質含有率 5.1%	高濃縮性 (2002)
1,3,5-トリ-tert- ブチルベンゼン (1460-02-2) 第一種監視化学物質		3-3427 (K-946)	標準(4W) 1989年実施 BOD 0, 0, 0 (0) G C 0, 0, 0 (0)	難分解性 (1989)	1990年実施 >5.90 (フラスコ振とう法)	>200 (48hr)	1990年実施 1区(20µg/L): 7960~25700 2区(2µg/L): 9750~35700 脂質含有率 4.2%	高濃縮性 (1990)

*1 Kowwin v 1.67 による計算値。 *2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 *3 溶離液:メタノール/りん酸緩衝液(pH3.0) (3/1 v/v)